

急性期の反応

1. 急性期の一般的反応

- ▶ 身体、思考、感情の麻痺
- ▶ “fight or flight”－動悸、冷や汗、手足の冷感
- ▶ 情緒的混乱－否認、後悔、怒り、悲嘆

2. トラウマ周辺期の解離 (Peritraumatic dissociation)

- ▶ 現実感の喪失、離人感、体外離脱体験、感覚の麻痺、見当識の混乱、時間感覚の変容、身体イメージの変化

3. 急性ストレス障害 (Acute Stress Disorder ; ASD)

- * トラウマ周辺期の解離や急性ストレス障害の存在は、PTSD発症の危険因子とされている

→被害直後の症状：①ショックによる感情や感覚の麻痺、②動悸、過呼吸、手足の冷感、③恐怖、不安等、④被害に遭ったことの否認